

原 著

## 大都市居住 80 歳高齢者の現在歯保有状況に関する記述疫学的研究： 2012 年の東京都杉並区の調査から

長田 齋<sup>1)</sup> 椎名 恵子<sup>2)</sup> 安藤 雄一<sup>3)</sup>

**概要：**本研究は 2012 年に東京都杉並区が実施した調査結果を活用し、杉並区の 80 歳区民全体の現在歯保有状況を推定することを目的とした。郵送法による質問紙調査により 2,265 名から現在歯数の回答を得た（回答率：60.4%）。回答者の一人平均現在歯数は 16.43±10.53、20 歯以上所有者率は 47.4% で、性別による差は認められなかった。個人情報利用同意が得られた者（1,846 名）と無回答または不同意の者（1,880 名）の要介護認定状況（自立と要支援・要介護の 2 区分）、介護保険料所得段階別（4 区分）の分布の比較から、回答者は比較的健康で所得の高い層に偏っている傾向が認められた。このため要介護認定状況別、介護保険料段階別の一人平均現在歯数、20 歯以上所有者率を 80 歳区民全体の分布に応じて外挿し、全体の一人平均現在歯数、20 歯以上所有者率を推計した。その結果、男女合計の推計値は、要介護認定状況からは 16.5 歯、47.7%、介護保険料段階からは 16.5 歯、47.1% と回答者の分析結果とほぼ同じ値であった。また 274 名の希望者が受診した歯科診療所における口腔診査結果との比較では、一人平均現在歯数は口腔診査結果のほうが 0.5 歯低いが、20 歯以上所有者率は 0.4 ポイント高い値であった。以上から本研究の分析結果は、2012 年時点における 80 歳杉並区民の約半数が 8020 を達成していたことを支持するものであった。

索引用語：8020、現在歯数、大都市高齢者、記述疫学

口腔衛生会誌 67：284-291, 2017

(受付：平成 29 年 4 月 28 日／受理：平成 29 年 8 月 3 日)

### はじめに

8020 運動が始まって以来、国レベルでは、その達成度について歯科疾患実態調査の成績が用いられ、2011 年の同調査では 38.3% と推計されている<sup>1)</sup>。しかし、地域単位の達成状況は、同調査では明らかにならない。

また、21 世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本 21（第二次））<sup>\*1</sup>では、平成 34 年度までに 8020 達成者率を 50% とする目標が掲げられている。地方においても、それぞれの健康増進計画や歯科保健計画等で同様の目標設定が行われているが、評価方法については必ずしも一律ではない<sup>2)</sup>。

これは高齢者集団の歯科保健状況を正確に把握することの難しさによる。無作為抽出した調査客体に口腔診査を実施する方法が最も望ましいが、地方において歯科疾

患実態調査等に合わせて抽出規模を拡大して調査を実施しても、一定の精度で評価可能な規模の高齢者集団を確保することは容易ではない。このため次善の策として、主に以下の二つの手法が用いられている。

一つは歯科診療所の患者を対象とした調査である。例えば東京都では、1994 年に実施した「西暦 2000 年の歯科保健目標到達度調査」<sup>3)</sup>以降、成人および高齢者の歯科保健状況の実態把握・目標設定に歯科診療所調査を採用している。この方法は、一定規模の成人・高齢者集団に対し、歯科医師による口腔診査の機会を確保するという観点から、特に広域自治体においては合理的な手法であるといえる。しかし、歯科診療所の患者であるという調査対象の偏りを免れることはできない<sup>4)</sup>。

もう一つは質問紙を用いた調査である。これは国民健康・栄養調査でも 2004 年の調査から採用されており<sup>\*2</sup>、

<sup>1)</sup> 女子栄養大学短期大学部

<sup>2)</sup> 杉並区杉並保健所

<sup>3)</sup> 国立保健医療科学院

<sup>\*1</sup> 厚生労働省：健康日本 21（第二次）。[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kenkounippon21/kenkounippon21/](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21/kenkounippon21/) (2017 年 4 月 27 日アクセス)。

<sup>\*2</sup> 厚生労働省：厚生労働省平成 16 年国民健康栄養調査の概要。<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/05/h0508-1a.html> (2017 年 4 月 27 日アクセス)。